

退教協だより

第 87 号

発行
盛岡市大通 1 丁目
1-16
岩手教育会館内
岩手県退職教職員
協議会
会長 佐藤 淳一

退教協に結集してともに未来を創る運動を

岩手県退職教職員協議会 会長 佐藤 淳一



昨年は岩手退教協が結成50年を迎え、その運動を創り、繋げてこられた方々の労苦に改めて敬意と謝意を感じて、今年先の大戦の終戦から80年を迎え、平和を守り、日本国憲法の理念を活かす社会の実現に向けて運動を広めていく決意を会員の皆さんとともに再確認したいと思います。

現在、国内外の情勢は混沌を極め、大戦後に世界がめざした平和的で民主的な人権尊重を実現する社会の実現は危機的な困難に直面しているとも言えます。しかし、この状況に受動的に巻き込まれるのではなく、真実を知り、自ら考え、仲間と連帯して理想の実現を主体的にめざしたいと思っています。憲法でも、自由と権利を守るために、国民に不断の努力を求めているのですから。

昨年の解散総選挙で自公政権は少数与党となったため、今までのように数の力で強行採決することはできなくなりました。国会の議論も一定の緊張感が生まれる状況となりましたが、一部の野党には目先の利益を優先した政策で人気を得ようとする風潮も見られます。どのような政策が将来にわたって国民生活の向上や安心につながるのかを慎重に判断していく必要があると思います。

3月6日の岩手県退職教職員互助会（退教互）理事会において、社会保障制度や互助制度維持の運動の取り組みとして以下の内容が決定されました。

「社会保障制度の確立と互助制度の維持・発展、及び教育条件整備の一層の充実を求めるため、構成組織の推薦する候補を推薦します。7月に行われる第27回

参議院議員通常選挙では、みずおか俊一さん（日政連議員・比例区）と横沢たかのりさん（岩手選挙区）を推薦し、現職と連携して取り組みます。」

これを受けて、「退教互として」各地区において、岩教組・高教組の各支部と連携を図りながら取り組みの推進をはかるよう通知がなされています。このことにより、今まで長年にわたって課題となってきた「退教互による組織的な政治活動が可能になる状況が実現された」こととなります。退教協にとっても長年の宿願だった課題を解決する大きな一歩となりました。今夏の参院選では、退女教や高退連、そして岩教組各支部の現職とも連携・協力しながら、退教互会員・高齢者のための福利厚生の実、全世代が安心して生活できる社会保障制度の確立、教育の向上など私たちが願う社会の実現に向けて、政権交代をめざした選挙闘争の取り組みを進めていくことができたいと思います。

● 巻頭提言	佐藤 淳一
● 24年度経過報告	1
● 25年度活動計画	2
● 決算・予算・役員	3
	4

24年度経過報告(抜粋)

(1) 一般経過報告

2024年

- 4月12日(金) 2024年度県退職教職員協議会会計監査(退共部室)
- 21日(日) 大船渡市議会議員選挙定数内無投票 小松則也さん当選
- 22日(月) 第1回事務局会議(退共部室)
- 5月1日(水) 第95回メーデー中央集会(盛岡城跡公園 5名参加)
- 7日(火) 県退職教職員協議会総会(岩手教育会館)
- 24日(土) 25日(日) 岩教組定期大会(岩手教育会館)
- 6月1日(土) 「退教協だより」(第84号発行)
- 1日(土) 連合の森植樹行動(春子谷地湿原付近 2名参加)
- 7日(金) 日退教代表者会議及び50周年記念レセプション(東京 佐藤)
- 19日(水) 学校生協通常総代会(マリオス小ホール)
- 25日(火) 民主教育をつくる県民会議(岩手教育会館 佐藤、長内)
- 29日(土) 第41回働く者の健康を考える集い(岩手教育会館)
- 7月6日(土) 第1回 佐高信文化塾(岩手教育会館)

- 8日(月) 教育を語る会地区ブロック代表者会議(佐藤)
- 20日(土) 盛岡紫波地区センター衆院総会選対
- 28日(土) 活憲いわて講演会・総会(エスポワールいわて)
- 8月19日(月) 第2回事務局会議(退共部室)
- 22日(木) 24年度日退教東北ブロック総会(秋田市 野田)
- 24日(土) 公共交通を守る会総会(エスポワールいわて 野田)
- 9月1日(日) 「退教協だより」(第85号発行)
- 7日(土) 第2回佐高信文化塾(サンセーブル盛岡)
- 10月10日(木) 退職者連合 高齢者集会(エスポワールいわて 参加者3名)
- 17日(木) 水岡俊一参議院議員の政策制度学習会(プラザおでつて)
- 27日(日) 参議院補欠選挙投票日(木戸口英司当選)
- 11月8日(金) 衆議院総選挙投票日(1区階猛、3区小沢一郎当選)
- 10日(日) 第3回事務局会議(退共部室)
- 11日(月) 日退教福島学習交流の旅(福島請戸小他 参加者 佐藤)
- 14日(木) 過労死等防止対策推進シンポジウム(岩手教育会館)
- 25日(月) 県退職者連合第32回総会(エスポワールいわて 参加者5名)

- 26日(火) 県高齢者問題懇談会第31回総会(アイーナ701)
- 28日(木) 民主教育をつくる県民会議第2回理事会(教育会館 長内)
- 29日(金) 県退職教地区代表者会議(岩手教育会館)
- 30日(土) 第3回佐高信文化塾(エスポワールいわて)
- 12月1日(日) 第51回民主教育をつくる県民集会
- 2025年
- 1月6日(月) 連合旗開き(メトロポリタンニューウイング)
- 11日(土) 平和環境岩手県センター旗開き(エスポワールいわて)
- 2月16日(日) 小西和子新春交賀会(サンセーブル盛岡)
- 17日(月) 第4回事務局会議(退共部室)
- 3月1日(土) 「退教協だより」(第86号発行)
- 6日(木) 第2回県退職教協常任委員会(岩手教育会館)
- ※月例19日の昼、タデモ「改憲よりのち、くらしが最優先!」随時参加
- ※自治体選挙、平和運動、集会参加など県内各地域で行動が展開されました。

'25年度 活動計画

1 情勢と方針

4月9日、米国トランプ大統領による一方的な「相互関税」の上乗せは、半日で90日間の停止を余儀なくされました。金融市場は、高関税が景気を冷やす懸念から国債・株式・通貨ドルが売られる状況となり、こうした市場の反応が影響したとの報道があります。

トランプ第2次政権は、自国民へのアピール戦略だけが突出し、世界経済を不安定に落とし込むものです。取引で米国優位をめざそうとするトランプ政権は、ルールに基づく自由貿易と均衡関係を維持してきた国際社会から大きく逸脱していくものと見えます。

また、侵略を受け続けているウクライナの苦しい立ち位置につけ込むかのような対応や「NATO諸国へ軍事支援を受け持たせようとする発言、ガザでの虐殺と破壊を続けるイスラエル・ネタニヤフ政権への支援など、トランプ政権の対応は米国への信頼を揺るがしています。私たちは、プーチンによるウクライナ侵略やイスラエルによるパレスチナ人への非人道的な攻撃に反対します。

トランプ政権は日本に対しても米軍への経費増額を要求し、対中防衛の先頭に立たせようとしています。安倍政権と岸田政権による防衛費の拡大と「戦争法」成立後、日本の再軍備が急激に進められています。特に沖縄における自衛隊基地建設は、沖縄にとどまらず全国が基地化

する問題となっています。

平和憲法を活かし、反戦・非核、人権尊重を求める政治・社会運動の声をさらに高める必要があります。

政治の面では、衆議院の与党数が過半数割れしていることから、石破政権は国会での協議に応じる姿勢です。しかし、統一協会との癒着問題や安倍派議員や自民党東京都議員による裏金づくりと脱税問題など、国会での説明はまだ不透明なままです。また、選択的夫婦別姓についても、世論は賛成の意見が多い中、自民党内部の反対議員により、未だに進みません。自民党に対する国民の不信感が高く、時事通信社の世論調査（4月18日）をみると、内閣支持率は23.1%と昨年10月からほぼ横ばいですが、不支持が51.2%で「発足以来最低」と記されています。

国民生活面では、米不足報道と価格の高止まりに加え、諸物価の値上がりで実質賃金が低下していることなどにより生活不安が高まっています。

退教協が結成された当時からめざしてきた社会のあり方は、「高齢者の生活保障としての年金・医療の充実、妥当な税制など重要課題の実現、国民合意の教育改革運動の推進。そして、反核・軍縮・平和と民主主義を守る」（1989年2月県退教協の策より引用）ことで、今も追求し続けていることです。平和憲法が日本に住む全ての人に活かされる社会をめざします。「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンの下に組合運動・労働運動を担い、退職した後も社会の形成者として、支える者として追求しめざしていくことを考えます。

私たちは、政治情勢や経済動向を見極め、岩教組の方針のもとに結集し、参議院においても与党を過半数割れに追い込み、自公政権交代に向け取り組みます。

7月の参議院議員通常選挙で日政連議員である、みずおか俊一氏（比例区）を再び議会の場を送り届けることをめざします。また、岩教組と高教組は、岩手選挙区に横沢たかのり氏を候補予定者として推薦決定しました。

退教協は、参議院議員通常選挙に向け、「退教互として岩教組・高教組が推薦する候補を推薦する」という決定がされたことを明示した「政策・制度要求実現のための運動推進について」の文書を各地区退教協へ発出しました。退教協はこの運動推進の先頭に立ち、全ての会員に推薦候補者の支持と拡大を呼びかけます。

2 当面の活動について

- ①「退教協だより」の充実、活用を図ります。
 - ②「新会員の皆様へ」の文書を発行し、配布します。
 - ③年金満額支給までの再任用期間中の会員は、現職と共に学習会等に組織し共に運動に参加します。
 - ④役員・班長の高齢化に伴う、世代交流・交代を探り、運動の継続化を図ります。
 - ⑤地区活動の課題を県退教協として把握し共通理解を図ります。そのために、アンケートなどを採って課題を代表者会議等で協議します。
- （活動場所・状況、人員構成、再任用者会員、予算、よいところを学ぶなど）

2025年度 役員氏名

● 会 長	佐藤 淳一 (盛岡)
● 副 会 長	及川 功一 (江刺)
● 常 任 委 員	三浦 昌弘 (気仙)
● “	中村 邦子 (下北)
● 会 計 監 査	山本 顯 (岩手)
● “	阿部 和保 (胆沢)
● 事 務 局 長	野田 敏明 (盛岡)
● 事 務 局 次 長	阿部 作生 (盛岡)
● 事 務 局 員	吉田 義昭 (盛岡)
● “	伊藤 千秋 (盛岡)
● “	長内 俊一 (盛岡)
● 特 別 常 任 委 員	佐藤 淳一 (盛岡)
● “	(退職者連合会長)
● “	野田 敏明 (盛岡)
● “	(高齢者問題懇談会会長)
● “	吉田 義昭 (盛岡)
● “	(退職者連合幹事)
● “	久保田 豊 (盛岡)
● “	(高齢者問題懇談会幹事)
● “	松淵 昂 (東京)
● “	(日退教事務局次長)
● 相 談 役	佐藤 工
● “	(岩教組委員長・退教互理事長)
● “	川村 元
● “	(退教互専務理事)